

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	理科	科目	必修選択 化学演習(文系)	学年	3
担当者	久保 博義			単位数	2
使用教科書	化学基礎(数研出版)				
使用教材	2017 チェック&演習 化学基礎(数研出版)				
教科・科目の指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験「化学基礎」に対応し、既習事項を復習することで、基礎的・基本的な知識の確実な定着及び探究的な学習活動の一層の充実をはかる。 ・演習を通して、時間内に問題を解答する技術を身につける。 				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	序章 化学と人間生活 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合 第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式	日常生活と関連づけたセンター試験レベルの問題に対応できるようになる。 混合物、単体、化合物、元素の区別をできるようになり、物質の構成に関するセンター試験レベルの問題に対応できるようになる。 物質の構成粒子や、その粒子の結合に関するセンター試験の問題に対応できるようになる。 物質質量、反応式の量的関係、溶液の濃度に関するセンター試験レベルの計算問題に対応できるようになる。	12
6月7月	1学期期末考査	第2章 酸と塩基 第3章 酸化還元反応	酸と塩基に関するセンター試験レベルの問題に対応できるようになる。 酸化還元反応に関するセンター試験レベルの問題に対応できるようになる。	12
7月10月	2学期中間考査	総合問題演習	センター試験の問題が解けるようになる。	14
10月12月	2学期期末考査	総合問題演習	センター試験の問題が解けるようになる。	14
12月3月	学年末考査	総合問題演習 総合問題演習	センター試験の問題が解けるようになる。 入試問題に対応できるようになる。 入試問題に対応できるようになる。	18

評価の観点・方法	定期考査・宿題プリント・小テスト・ノート等を総合的に判断する。
----------	---------------------------------